

会長に横山美衣さん就任 文団連 新体制でスタート

文団連は定期総会を開き、新会長に横山美衣さんを選出。新三役もきまり、本年の活動が始まった。6年間にわたり会長として尽力された片桐伸夫氏は今総会をもって退任し、顧問に就かれることになった。

5月26日(日) 中央公民館第1ホール。平成25年度の総会が板屋理事の司会で開会。片桐会長は挨拶の中で、設立14年目となった文団連の活動成果と、各方面の協力への感謝を述べ、今後の課題として会員減少と収入減少対策の必要性を上げた。

来賓の挨拶として、仲川市長は、「会員減少は大きな課題だ。狭山に残された歴史遺産を継承し発展させていく事が大事なことです。新しい役員でそれぞれの感性で新たな活気ある団体になることを願っています」、市議会議長の東山氏は「娘が小学生の時、青少年文化体験フェスタでお箏を教えてもらった。今でも弾ける。子ども達にとって参加する事で興味、積極性、自信などが生まれ、良い思い出として残る。狭山市議会では大いに応援します」、そして松本教育長からは、「教育委員会の方では生涯学習事業計画の中で、文化の振興をあげている。市民文化の振興により一層取り組んでいただきたい」との激励があった。同じく来賓の生涯学習部 栗原部長および社会教育課 北田課長には総会終了まで在席いただいた。

広沢理事が議長に選任された後、議事に入った。平成24年度事業報告・決算報告、平成25年度役員人事案はそれぞれ満場一致で承認。続いて横山新会長から本年度の事業計画案が提案され、予算案と共に拍手で承認され、定期総会は閉会となった。

平成25年度基本方針

文化活動団体を支援することによって、生き生きとした文化人が街に溢れる事を目標とする。また各団体と協働し、狭山市が優れた文化都市になる事を目指す。

- 重点項目
- 1 会員の拡大
 - 2 所属団体の活性化
 - 3 自主事業の充実と自立
 - 4 他団体との連携
 - 5 狭山の文化の掘り起こしと普及
 - 6 「被災者支援プロジェクト」活動



退任の挨拶をされる片桐さん

平成25・26年度 役員

- ・会長 横山美衣 選任理事
- ・副会長 板屋捷子 選任理事
- ・副会長 能川堅弥 市民劇団ステップ理事
- ・会計長 張替絹子 選任理事
- ・事務局長 小川忠史 狭山コミュニティ放送研究会理事
- ・常任理事 板倉 巧 狭山オカリナクラブ理事
- 小川豊子 選任理事
- 岸野智子 劇団白(ホワイト)るうぷ理事
- 中村伶華 狭山市三曲連盟理事
- 広沢一岐 童句振興協会理事

- ・監査 栗原梅次 華野 新
- ・顧問 小高誠太郎 片桐伸夫

常任理事会便り

定期総会も無事終了し、横山新会長の下、新体制での文団連がスタートしました。文化活動団体への支援・協働の強化に加え、幅広い分野の諸団体との連携を模索する事も今年度の重点項目の一つです。総会后、横山会長と一緒に市長や教育委員長を始め、各部門・団体の要職の方々への挨拶回りを行っていますが、既に有益な情報交換が出来ています。今後、文団連内部からもアンケートを取って自主事業や運営のあり方を見直し、有意義で活気ある文団連になる事を目指していきます。

事務局長 小川忠史